

令和4年度 第2回 大野市公共交通活性化協議会

議事録概要

○日 時：令和4年11月9日（水）14：00～

○場 所：大野市役所 大会議室

◆次 第

1 開会

2 報告事項

(1) 公共交通の利用実績（上半期）について

概要：事務局から令和4年度上半期の利用実績について説明

(2) 進捗報告

・まちなか循環バス定期券の障がい者等割引導入、停留所移設

概要：前回会議で協議いただいた件について10月1日付で実施を報告

・ふくいMaaS協議会の取組（嶺北連携中枢都市圏）

概要：「ふくい MaaS アプリ」による企画切符の実証実験の取組を報告。

・共助型交通の導入検討

概要：阪谷地区などで導入検討を進めている共助型交通の取組・進捗を報告

3 議題

(1) 地域公共交通確保維持に関する自己評価について

概要：令和4年度の地域公共交通確保維持改善に関する自己評価について説明

結果：承認。期日までに福井運輸支局に提出

(2) 大野市地域公共交通計画策定について

①規約改正・策定体制・策定スケジュール

概要：地域公共交通計画策定に向けた規約の改正、策定体制（分科会の設置）、策定スケジュールについて説明

意見：交通事業者だけでは限界があるため、まちづくりや地域と連携・協力した今後の運行、計画を策定いただきたい。

結果：承認。

②公共交通の総括とアンケート調査

概要：これまでの公共交通の総括と今冬に実施予定のアンケート調査について説明
なお、総括の詳細はアンケート結果等を踏まえて整理

意見：アンケート調査について前回調査との継続性は必要だが、新しい計画策定に向けて新しい視点も取り入れてほしい。

事務局：新しい視点の設問を盛り込みたい。

結果：承認。出された意見を踏まえアンケート調査の内容を検討

③公共交通網再構築の方針

概要：令和6年4月からの市内公共交通網の再構築に向けて方針を説明

意見：事務局側に再構築への方針・ビジョンが概ね固まっている中で、協議会や分科会開催の意義を教えてほしい。

事務局：再構築の方針は、あくまでも一つの案。分科会などで協議を進めていきたい。
再構築予定時期の令和6年4月は、さまざまな機会が重なる時期である。

意見：再構築は必須と認識。

意見：共助型交通は具体的にどのような内容か。

事務局：既存の公共交通を補完する位置づけ。内容は住民の意向次第である。

意見：広域移動にあたる大野線や勝山大野線に対する市の考えは。

事務局：学生、高齢者等に利用されており、引き続き利用促進を進めたい。

意見：インバウンドを含め公共交通を使って移動される方が増えるものと予想。公共交通の中での観光客向けのサービスも検討いただきたい。

結果：承認。引き続き、協議会において公共交通網の再構築に関する協議を進めていく。

4 閉会